

黒毛和種産肉能力（間接法）検定成績

（畜試肉牛部 種山牧野事務所）

1. 背景とねらい

県内黒毛和種の産肉能力等経済性の向上を図るため、「黒毛和種牛群育種改良推進事業」の中で産肉能力（間接法）検定を実施している。今回6頭の種雄牛について同検定が終了し、その成績を得たので改良指導上の参考に供する。

2. 技術内容

県有種雄牛5頭と民間有種雄牛1頭の計6頭について、産肉能力（間接法）検定を実施した。6頭の1日当り増体量は全国平均値を下回り、終了時体重および皮下脂肪は低い値であった。

なお、県産県有種雄牛5頭については、今回の間接検定成績および現在実施中の現場後代検定成績の結果を検討し、最終的に1～2頭選抜される予定である。

福桜； 終了時体重（549.8kg）および1日当り増体量（0.78kg）は低かったが、ロース芯面積（44cm²）およびBMS（2.1）は全国平均値と同程度であった。皮下脂肪厚（1.5cm）は優れていた。肉質等級4以上の割合も100.0%であった。

花気高； 終了時体重（599.9kg）および1日当り増体量（0.92kg）は全国平均を上回ったが、ロース芯面積（43cm²）およびBMS（1.6）の項目は全国平均を下回った。肉質等級4以上の割合は87.5%であった。

由谷90； 終了時体重（543.2kg）、1日当り増体量（0.82kg）およびBMS（1.5）は劣ったが、ロース芯面積（48cm²）および皮下脂肪厚（1.5cm）は優れた。4以上の割合は75.0%であった。

夏茂； BMSは央昌とともに最も高い2.4であったが、1～4とばらつきが大きく、肉質等級4以上の割合は75.0%と低かった。ロース芯面積（41cm²）は6頭中最も小さかった。

央昌； BMSは最も高い2.4であった。1日当り増体量は0.67～0.96kgとばらつきが大きく平均0.82kgであり、終了時体重（538.7kg）も小さかった。肉質等級4以上の割合は100.0%であった。

幸久； 終了時体重（535.0kg）および1日当り増体量（0.72kg）は低かった。BMS（2.2）は全国平均値を上回ったが、肉質等級4以上の割合は87.5%であった。

3. 指導上の留意事項

間接検定法

検定場所 岩手県種山牧野事務所

検定期間 364日

4. 試験成績概要

平成4年度黒毛和種間接検定成績

検定牛		福 桜 (N= 8)	花気高 (N= 8)	由谷90 (N= 8)	夏 茂 (N= 8)	央 昌 (N= 7)	幸 久 (N= 8)
所 有 者		岩手県	岩手県	岩手県	岩手県	岩手県	東磐酪農 農業協同 組合
生 年 月 日		63.12.12	1. 5.10	1. 8. 3	1. 8.11	1. 7.29	1. 2.10
登 録 番 号		黒原2239	黒原2278	黒 12045	黒原2279	黒 12066	黒原2145
血 統	父	福 昌 黒高 618	森気高 黒育 203	福 谷 黒 11739	菊 谷 黒育 197	福 昌 黒高 618	安幸土井 黒育 169
	母の父	第7糸桜 黒育 29	裕 徳 黒高 605	由 福 黒高 835	賢 晴 黒育 40	晴 美 黒育 19	安美土井 黒育 48
体 重 (kg)	開始時	265.0	265.9	243.0	255.9	240.6	272.8
	終了時	549.8	599.9	543.2	532.5	538.7	535.0
1日当り増体量 (kg)		0.78	0.92	0.82	0.76	0.82	0.72
1KG増体TDN (kg)		6.95	6.63	6.63	7.07	7.02	7.05
枝 肉 歩 留 (%)		63.2	62.8	63.6	62.1	62.6	62.1
ロース芯断面積 (cm ²)		44	43	48	41	43	44
背部皮下脂肪厚 (cm)		1.5	2.7	1.5	1.7	1.2	1.1
脂肪交雑・(BMS)		2.1	1.6	1.5	2.4	2.4	2.2
枝 肉 格 付		A-5 3 A-4 5	A-4 5 B-4 2 B-3 1	A-5 1 A-4 5 A-3 2	A-5 5 A-4 1 A-3 2	A-5 5 A-4 2	A-5 3 A-4 4 A-3 1

平均	セット数	終了時日 齢(日)	終了時体 重(kg)	1日増体 量(kg)	ロース芯面積 (cm ²)	皮下脂肪 厚(cm)	BMS
全国	343	626.0	585.8	0.89	45	2.0	2.1
本県	6	620.7	549.9	0.80	44	1.6	2.0